

株主のみなさまへ

TOWA REPORT

第67期第2四半期 事業のご報告

2022年4月1日～2022年9月30日



東和薬品

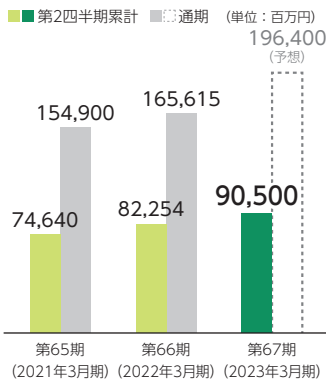
連結業績のハイライト

2023年3月期 第2四半期（累計）

売上高

905億00百万円

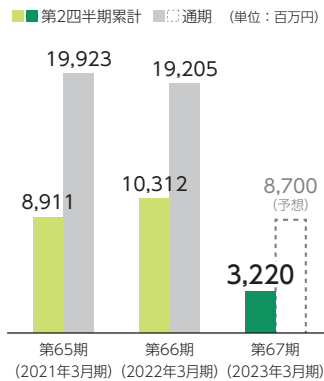
前年同期比 10.0% 増



営業利益

32億20百万円

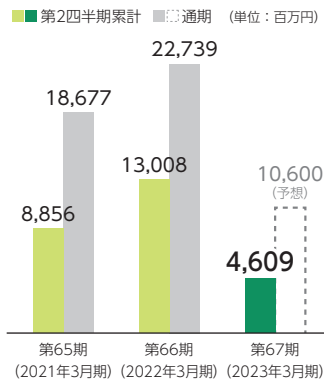
前年同期比 68.8% 減



経常利益

46億09百万円

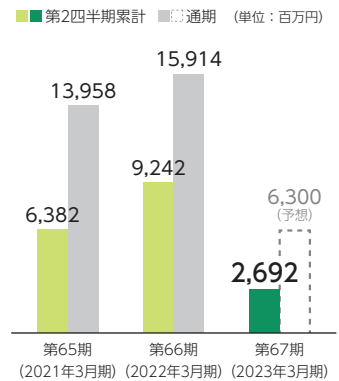
前年同期比 64.6% 減



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

26億92百万円

前年同期比 70.9% 減



2023年3月期 通期予想

売上高

1,964億00百万円

前期比 18.6% 増

営業利益

87億00百万円

前期比 54.7% 減

経常利益

106億00百万円

前期比 53.4% 減

親会社株主に帰属する当期純利益

63億00百万円

前期比 60.4% 減

※2021年3月期第2四半期実績は買収価格調整及びPPAによる遡及修正を反映しております。
 ※2023年3月期通期予想の数値は、2022年11月14日発表の連結業績予想を記載しています。

**ジェネリック医薬品の信頼回復に向けて、
確かな品質と安全性、安定供給の確保に全社で
取り組んでおります。**



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第67期第2四半期の事業のご報告（2022年4月1日～
2022年9月30日）をお手元にお届けいたします。

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、前年同期比で売上
高は10.0%増、経常利益は64.6%減となり、大変厳しい結果となりました。
当年度下期も引き続き困難な状況が続くと予想されることから、当年度通
期の連結業績予想を、売上高は1,964億円へ、経常利益は106億円へ
下方修正いたしました。しかしながら、当年度下期が、「第5期 中期経営
計画2021-2023 PROACTIVE II」の達成に向けて極めて重要な半年間
と認識しております。

国内ジェネリック医薬品業界では、ジェネリック医薬品の使用割合を2020年9月までに80%まで高めることが目標として掲げられ、当社をはじめとするジェネリック医薬品業界各社では、生産体制の拡充と安定供給に努めてまいりました。ジェネリック医薬品の普及が進んだ結果、2022年6月の数量シェアは79.8%（2022年4-6月期 日本ジェネリック製薬協会調べ）となりました。一方、2021年度以降は2年に1度の通常の薬価改定に加え、中間年における薬価改定の実施により毎年薬価改定を行うとの方針が決定されました。さらに、原材料や世界的なエネルギーコストの上昇が加わることで、製造原価が増加する傾向となっております。また、昨今の医薬品における品質や安定供給に関する各種問題によりジェネリック医薬品に対する信頼感は低下し、ジェネリック医薬品業界の置かれた環境は厳しさを増しております。

このような状況の下、当社では増産に向けた新規設備の導入と増員に取り組んでおり、将来にわたり安定供給できる体制を構築するため、2023年10月までに山形工場に第三固形製剤棟を建設し、2024年度以降、175億錠の生産能力を実現する計画は着実に進展しております。

製造管理及び品質管理面では、医薬品の製造管理及び品質管理の基準であるGMP省令やその他関連する法令を遵守し、独自の制度・教育訓練により、医薬品の適切な品質と安全性の確保に取り組んでおります。また、安定供給体制の維持・強化のため、原薬の複数社購買化や製造所の監査等を強化・推進し、製剤工場のバックアップ体制を構築することで、グループ全体として原薬製造から製剤製造、物流、販売に至るまで、サプライチェーン及びガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを継続して行っております。

第2四半期末の配当金につきましては、安定配当を維持し、当初計画通り1株当たり配当金を30円といたしました。

内部留保金につきましては、中長期的視点からの経営体質、人材育成体制、コンプライアンス・ガバナンス体制の強化や、徹底した製造管理・品質管理の取り組み、企業価値の増大を図るために、生産能力増強・生産効率向上のための設備投資、研究・技術開発力の充実、海外市場での拡大と成長、新たな健康関連事業への展開などに充てさせていただきたいと存じます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 **吉田 逸郎**

TOWA NEWS DIGEST

● 服薬支援ツール「Hanaサポート（ハナサポ）」サービス開始 ●



Hanaサポート

はやく
なおそう
気軽に
はなそう
はなれて
いても安心

当社は、2022年9月より服薬支援ツール「Hanaサポート（ハナサポ）」のサービスを開始しました。Hanaサポートは、服薬時間のお知らせや服薬の記録に加えて、薬局や薬剤師さんとコミュニケーションが取れる機能も搭載し、患者さんの正しい服薬をお手伝いします。

患者さん向けアプリでは、患者さんの服薬状況をパートナーキャラクターが見守り、実際の服薬の記録に合わせて、キャラクターと日本の名所を巡ることができます。このゲームメソッド*1の導入により、服薬に対するモチベーションが向上し、飲み忘れや自己判断による服薬の中断などを防ぐ効果が期待できます。また、管理Webサービスを利用する薬局では、患者さんの服薬状況を随時把握することで、適切な服薬支援が可能となり、残薬の削減やポリファーマシーの改善が期待できます。

「人々の健康に貢献する」という企業理念のもと、Hanaサポートを通じて、患者さんの服薬アドヒアランス*2向上や医療経済の課題解決に向けて貢献してまいります。



*1 ゲームメソッド：ゲームデザインの要素やゲームの原則を、ゲーム以外の物事に応用すること。
*2 服薬アドヒアランス：患者さんが積極的に治療方法の決定に参加したり、その決定に従って治療を受けること。

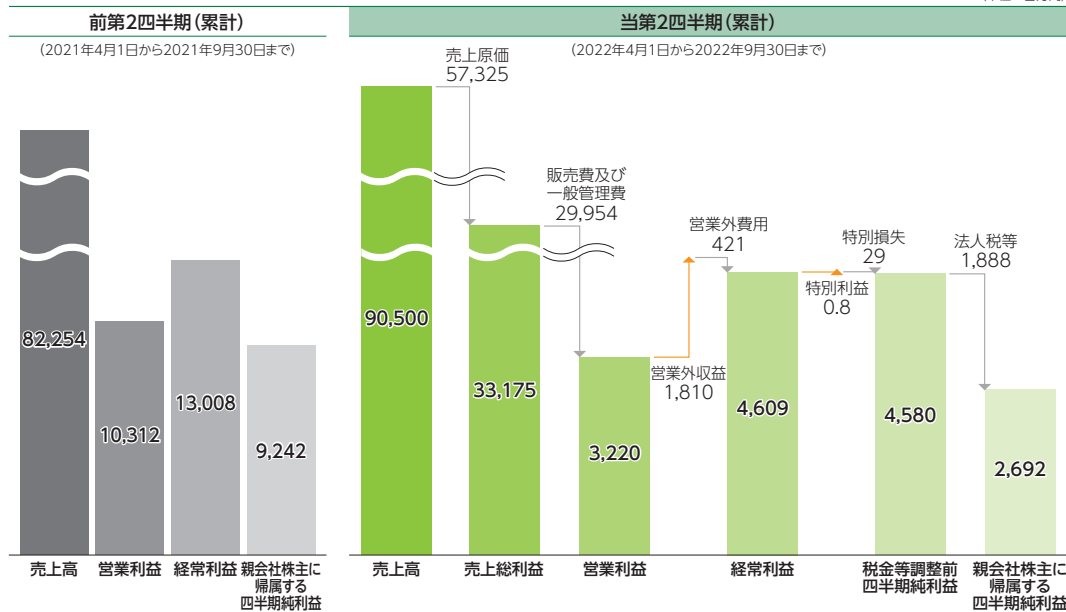
※詳しくはこちらよりご確認ください

四半期連結財務諸表 (要約)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書のポイント

(単位: 百万円)



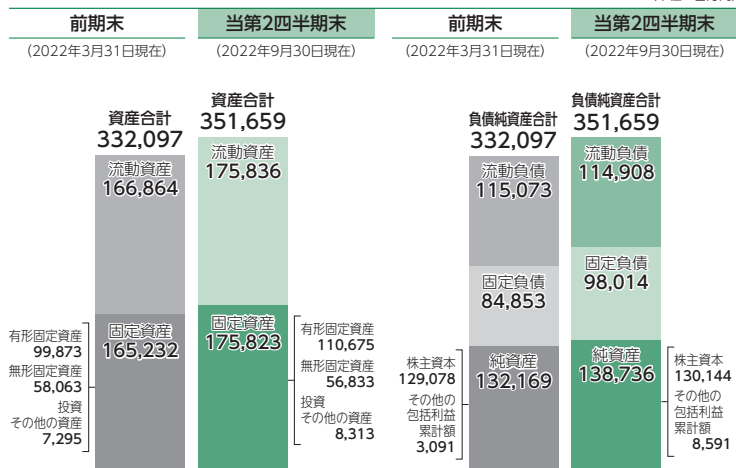
POINT 1

三生医薬の連結子会社化に伴う連結グループ売上高の増加、営業利益の減少

当第2四半期は、三生医薬株式会社を連結子会社化したことにより、売上高は90,500百万円（前年同期比10.0%増）となりました。一方、売上原価率が上昇したことによる売上総利益の減少や、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は3,220百万円（同68.8%減）となりました。

連結貸借対照表のポイント

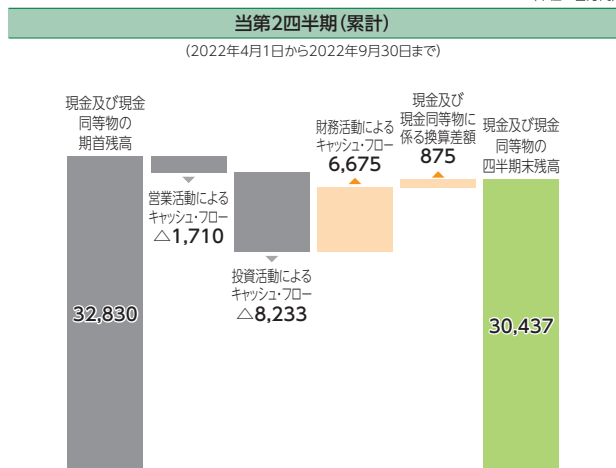
(単位: 百万円)



※第67期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第66期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位: 百万円)



POINT 3

営業活動によるキャッシュ・フローの減少により現金及び現金同等物の残高が減少

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、30,437百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローでは1,710百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローでは8,233百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローでは6,675百万円の収入となり、前連結会計年度末と比べて2,393百万円減少しています。

POINT 2

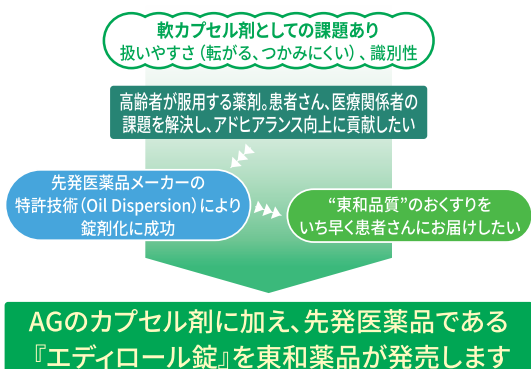
資金の調達により資産・負債が増加

当第2四半期末の総資産は351,659百万円となり、前連結会計年度末比19,562百万円の増加となりました。その主な要因は、固定資産の増加や棚卸資産の増加などによるものです。負債につきましては、長期借入金が増加したことなどにより212,923百万円となり、前連結会計年度末比12,995百万円の増加となりました。

● 骨粗鬆症治療剤「エディロール錠」の販売提携 患者志向 (Patient-oriented) の新たな取り組み ●

骨粗鬆症治療剤エディロール錠0.5μg/0.75μgについて、中外製薬株式会社（以下、「中外製薬」という）が製造販売元としての責任を担い、当社が独占的に発売及び情報提供活動を実施することを2022年8月にプレスリリースしました。エディロールは中外製薬が長年にわたるビタミンD研究に基づき創製した活性型ビタミンD₃製剤であり、当社は中外製薬との協力関係のもと、「患者さんにとって一番良いと思えるものを提供したい」、その想いの実現のため、エルデカルシトール製剤で初のオーソライズド・ジェネリック（以下、「AG」という）であるエルデカルシトールカプセル0.5μg/0.75μg「トーフ」を2021年12月に発売しました。

当社は、その情報提供活動を通じて、「服用時の課題を解決し、治療に貢献したい」という想いに至り、その想いは中外製薬の目指す未来と軌を一にするものであったことから、「治療の選択肢」を広げていくため、AGとしてのカプセル剤に加え、中外製薬にて開発された「エディロール錠」も、2022年12月薬価収載及び発売として当社のエルデカルシトール製剤のラインナップに取り揃えることとなりました。



会社概要

社名 東和薬品株式会社
 本社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号
 TEL：06-6900-9100 (代表)
 代表者 代表取締役社長 吉田 逸郎
 創業 1951年6月
 設立 1957年4月
 上場取引所 東京証券取引所プライム市場 (証券コード：4553)
 資本金 47億1,770万円
 事業内容 医療用医薬品の製造・販売

事業拠点及び販売拠点

本社 本社 守口別館 東京支社
 研究所 中央研究所 製剤研究所
 京都分析科学センター
 健都ヘルスケア科学センター
 尼崎リサーチセンター 姫路リサーチセンター
 工場 大阪工場 岡山工場 山形工場
 物流センター 西日本物流センター 関西出荷センター
 東日本物流センター
 営業・販売拠点 営業所71拠点 代理店62拠点

連結子会社

ジェイドルフ製薬株式会社
 大地化成株式会社
 グリーンカプス製薬株式会社
 三生医薬株式会社
 Towa Pharma International Holdings, S.L. (他7社)

株式の状況

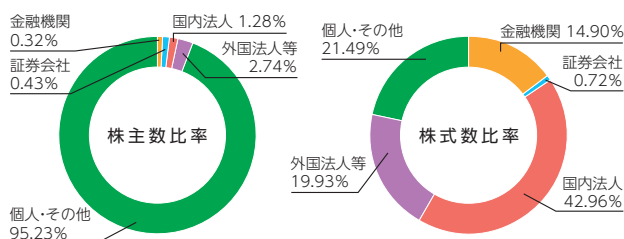
発行可能株式総数 147,000,000株
 発行済株式総数 51,516,000株
 1単元の株式数 100株
 株主数 6,937名

大株主一覧 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| (株)吉田事務所 | 20,100 | 40.84 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 4,080 | 8.29 |
| ピーエヌワイエム アズ エージーティシーエルティエス ノントリーティー ジャスデック | 2,456 | 4.99 |
| 東和薬品共栄会 | 1,495 | 3.04 |
| 吉田 逸郎 | 1,455 | 2.96 |
| (株)日本カストディ銀行(信託口) | 1,398 | 2.84 |
| 東和薬品社員持株会 | 919 | 1.87 |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505224 | 751 | 1.53 |
| (有)吉田エステート | 648 | 1.32 |
| 日本生命保険相互会社 | 438 | 0.89 |

(注) 当社は、自己株式2,294,167株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主分布状況



役員

| | | | |
|---------|-------|--------------|-------|
| 代表取締役社長 | 吉田 逸郎 | 取締役 監査等委員・常勤 | 白川 敏雄 |
| 専務取締役 | 今野 和彦 | 社外取締役 監査等委員 | 栄木 憲和 |
| 取締役 | 田中 政男 | 社外取締役 監査等委員 | 大石 歌織 |
| | | 社外取締役 監査等委員 | 後藤 研了 |

番組提供

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 報道ステーション | テレビ朝日系24局ネット 毎週月曜日 21：54～23：10 |
| たまむすび | TBSラジオ 毎週木曜日 13：00～15：30 |

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月に開催
 剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日
 1単元の株式数 100株
 公告掲載方法 電子公告によって行います。
<https://www.towayakuhin.co.jp/ir/stock/koukoku.php>
 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人ならびに特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒541-8502 (お問合わせ先) 大阪府大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話：0120-094-777 (通話料無料)

- ◆ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
 口座を開設されている証券会社等にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合わせください。
- ◆ 未払配当金の支払について
 株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し付けください。

◎見直しに関する注意事項
 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力を願いたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4553

——— 以下の方法でもアンケートにアクセスできます ———

🔍 検索窓から

✉ kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
 「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

👉 回答いただいた方の中から抽選で薄給(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.link-cc.co.jp>
 ●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL:info@e-kabunushi.com

アンケート回答のお礼

第66期通期 事業のご報告にて当社が実施したアンケートに対しまして、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。当社では株主の皆さまとの対話を重要なテーマと考えており、今後も双方向のコミュニケーションの充実を目指してまいります。